

エボラ・シンドローム／悪魔の殺人ウィルス (1996)

伊波拉病毒

EBOLA SYNDROME

メディア 映画

ジャンル ホラー パニック

製作国 香港

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1997/03/29

公開情報 レイジング・サンダー

【解説】

エボラ・ウィルスに感染した男が香港をパニックに陥れるパニック・ホラー。

香港マフィアのカイはボスの女房を寝取った事からリンチに会うが、逆上の末ボスを殺しアフリカ某国へ逃亡する。それから数十年後、小さな中華料理屋で職に就いていたカイは、ある日店主と共に安く豚を買えるという村落に赴くが、そこはいたるところに死者が横たわる死の村だった。店に戻るや体の不調を訴えるカイは診察の結果、エボラ出血熱に感染している事が判明する。しかし1000万人の一人の恐るべき確率で特殊な免疫を持っていたカイはやがて復調する。そして普段から自分のことを忌み嫌っている店主の妻を髑髏りものにした上、店主とその友人を含め3人とも殺害してしまう。その上バラバラにした死体からハンバーグを作り、それを客にふるまうのだった。一方、かつて香港でカイに殺されたボスの一人娘リリーはハネムーンでアフリカに来ており、カイと遭遇するが現地の警察は取り合ってくれない。やがてカイのハンバーグを食べた人々が次々と病院に担ぎ込まれ、全員エボラに感染している事が判明。感染源を追う警察はカイまでたどり着くが時すでに遅し、店主の金を奪ったカイは香港へ舞い戻っていたのだ。自分がエボラに感染している事などつゆ知らず、女を買い豪遊を続けるカイ。香港警察はリリーの協力を得てカイの足どりを追うが、カイは昔の女のところへ転がりこんでいた。そして遂に警察が踏み込んだ時、カイは自分の体内に宿るエボラ菌を武器に恐るべき凶行に出るのであった……。

逆上するや何をしでかすか判らない主人公カイのキレたキャラクターが何よりも鮮烈。その男がエボラ・ウィルスの保菌者となったという物語がすでに狂気の域に達している。最初の感染経路にしても、村の近くで倒れて苦しそうにしている現地の女を無理矢理手籠めにしたからなのだ。しかも女が騒ぐと簡単にこれを撲殺。冒頭、香港での虐殺シーンもそうだが、いとも簡単に人を殺すカイの良心のかけらもない性格がこの映画を象徴している。かの怪作「八仙飯店之人肉饅頭」の監督・主演コンビだけの事はある。エロ・グロ・ナンセンスがハイレベルで同居し爆発しまくる、この作品のパワーは並大抵ではない。謹んで“最悪の映画”という褒め言葉を進呈しよう。

【クレジット】

監督 ハーマン・ヤオ

製作 バリー・ウォン Barry Wong

脚本 チョウ・ティン

撮影 ユー・クオックビン

出演 アンソニー・ウォン Anthony Wong

ワン・イェンミン

シン・ファイウォン Shing Fui On

ロー・マン Lo Meng